



2009年10月17～18日 スーパーGT選手権 GT500クラス 参加台数14台
サーキット オートポリス

第8戦が大分県のオートポリスで行われました。

GTマシンで走るのは初めてですが、フォーミュラニッポンでは走行経験があるため、その経験を活かして、走ろうと思いました。

土曜日の走行で、年弘さんがマシンの確認をした後に、コースインしました。予想していたよりも、路面のバンプに対してフォーミュラよりも跳ね方が大きく、ラインの取り方を変える必要がありました。さらに、初日からタイヤカスが多く、300クラスをオーバーテイクする時のライン取りが難しい状況でした。あと、年弘さんが評価したタイヤを自分でも比べることができ、タイヤの違いを確認し走行を終えました。

予選・・・／12位

天候・・・晴れ

コンディションはドライコンディションのまま予選が始まりました。基準タイムをクリアするため、走行開始とともにコースインしました。18号車の後ろでコースインすることができ、ライン取りを比べながら走りました。マシンセッティングも変更していたのでマシンのフィーリングも確認しました。300クラスを抜きながらタイムを出すのが、他のサーキットよりも難しく、抜くタイミングも勉強しながら走り、基準タイムを出したところでピットに戻りました。

その後行なわれた500クラスのみ時間帯になり年弘さんがアタックにいき、今回は12番手タイムでした。

決勝・・・／リタイヤ

天候・・・晴れ

朝の8時30分から30分間のフリー走行が行なわれました。年弘さんがコースインし、レースに向けてのマシンを確認しに行きました。その後、ドライバーチェンジをし、アウトラップの練習のためタイヤを変えてコースインしました。気温が10月ということで、冷え込んでいたので、温まるまでに時間がかかりますが、そこをうまくコントロールできるように集中して走りました。ストレートを1回だけ通過し、すぐピットに入り、年弘さんが始めに使ったタイヤに変えて再びコースに戻りました。今回もセカンドスティントを担当するので、その時のタイヤ、ガソリンの量がスティントを想定した状態だったので、マシンフィーリングを確かめながら走行を終えました。その後行なわれたサーキットサファリでセッティングを変えたので、年弘さんが確認した後に自分も走行しました。そのセッティング変更が良く、タイムも上がり安定した状態で走れました。

サファリが終わってからミーティングをして、最終的にマシンのセッティングを決めて決勝に臨みました。

迎えた決勝は、朝よりも気温、路面温度ともに上昇したため固めのタイヤでレースに臨みました。しかし、スタートして2周目の2コーナーから3コーナーに掛けてアクシデントでストップ。復帰しようとした際にトラブルが起こってしまい、そのままリタイヤとなってしまいました。

オートポリスのサーキットは、フォーミュラニッポンの時に、ライン取り、マシンの向きの変え方等課題がたくさんあったので、見直しながら走行することができました。フォーミュラとは違う動きですが、その経験を活かすことができました。そして、今までのサーキットの中で1番300クラスの処理が難しく、改めて勉強することができました。決勝ではリタイヤという結果でしたが、最終戦はウエイトハンデがなくなるため、全力で走り今回の分も頑張りたいと思います。

次回のレース・・・11月7, 8日 ツインリンクもてぎ

塚越広大